

茨城県立緑岡高等学校自己評価表

目指す学校像	文武不岐の伝統精神のもと、高い知性とたくましい心を持つ生徒を育成し、一人一人の希望を実現するとともに、社会に貢献する人材を輩出することにより地域社会から支持・信頼される学校を目指す。	
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標
<p>【成果】</p> <p>1) 授業・学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・55分授業の実施 ・多岐に亘る課外授業の実施 ・授業振替率90.9% <p>2) 自学自習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日19時までの学習室利用と、土曜日等の学校開放 ・家庭学習記録の作成と点検 <p>3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現役国立合格者86名 ・現役進学率66% <p>4) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月マナーアップ指導を実施 <p>5) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新コースによる緑歩会の実施 ・緑高祭による文化部の活性化 <p>6) 事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の効果的執行と堅確な事務処理 <p>【課題】</p> <p>1) 授業・学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の自己管理能力の向上 ・学習時間の二極化、低位層の減少 ・希望課外授業への積極参加 <p>2) 自学自習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の習慣化と家庭学習時間の増加 <p>3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一志望校合格率の向上 ・面接相談指導の充実 <p>4) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装指導等の継続 ・交通事故防止の啓発 <p>5) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己管理能力の育成 ・生徒会活動の質的向上 ・文化部の活性化 <p>6) 事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算削減下での効果的執行 <p>7) 学校評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容の検討 ・「授業評価」を含む「学校関係者評価」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業第一の教育活動と自習時間の増加 	<p>①授業の質的向上を図りその成果を授業へ反映させる。</p> <p>②授業を受ける体制をつくるための予習・復習の実行を強化する。</p> <p>③基礎学力強化学習や発展的学習のための補習を行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・進路面談の強化と進学実績の向上 	<p>④現役での国公立大学合格者100名、難関私立大学合格者30名、現役進学率70%</p> <p>⑤各種試験結果の分析とそれを生徒一人ひとりに活かす指導を行う。</p> <p>⑥各生徒の情報を関係教員が共有し協調して学習・進路指導に当たる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・規律遵守の意識醸成 	<p>⑦教職員の共通理解により生徒の意識を高める。(礼儀、校則、公共心など)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や学校行事への参加意識の高揚 	<p>⑧生徒会活動、学校行事、部活動などへの積極的な参加を促し自己管理能力を高める。</p> <p>⑨学校行事の内容や実施時期の検討を行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な事務事業の実行 	<p>⑩予算の早期執行と適正な処理を行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規施策への定着化 	<p>⑪「道徳」授業の新担当者への引継ぎと授業内容の見直しを行う。</p> <p>⑫「人材育成・学校活性化支援システム」を本試行する。</p>

評価項目		具体的目標	自己評価
科 科	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習の習慣化 ・音読の重視 ・語彙力の定着 ・古語や古典文法の理解・習得 ・漢語や漢文句法の理解・習得 	
	地歴・公民	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを活用した計画的な学習指導 ・基礎的な内容の理解の徹底と、授業方法の研究 ・生徒の学習活動の適切な評価 	
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な学習指導の実施 ・授業における基礎的な内容の理解の徹底 ・自主的な学習態度を育てる ・質の高い授業の実施 	
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容の理解を徹底する ・科学的な態度・能力を養う ・受験に対応し得る応用力と実践力を強化する 	
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な内容の理解徹底と応用力、実践力を身に付けさせる ・自学自習の確立を目指し、学年＋1時間の家庭学習の増加を図る ・英語がわかる喜びを実感する授業への改善に努める ・指導法や教材についての情報交換と共有化 	
	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上 ・技能の向上 ・健康・安全への取り組み ・授業時間の確保 	
	芸術・美術	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な技能を身に付け、発想力を伸ばす ・芸術に興味・関心をもって取り組む態度を育て、自主的に作品を制作できるようにする ・作品の鑑賞や制作を通して自己を深く見つめる姿勢を培う。 	
	家庭情報	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な知識と技術を習得させる。 ・実践的な態度を育成する。 ・情報を科学的に理解し、実践できるようにする。 ・情報社会に参画する態度を養う。 	
	1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立をめざし、規律正しい学校生活が出来るように努める。 ・常に問題意識を持ち、自ら考えて行動する。 ・基礎学力の定着、自学自習および応用力の育成を促進する。 ・互いに個性を尊重して健全な人間関係の構築を図る。 ・自己実現に向けて2年次の文理分けに対応した進路学習を推進する。 	
2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、自律的な生活態度の確立をめざす。 ・授業を第一とした予習、授業、復習の学習サイクルの確立を図る。その上で発展的学習を促す。 ・部活動や学校行事の中心学年としての自覚を促し、人間的成長を図る。 		
3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来についてより具体的な意識を啓発する。 ・規則正しい学校生活の確立と最高学年としての自覚を持った生活ができるように努める。 ・授業中心の学習態度の徹底および家庭学習の充実を図る。 ・進路実現に向けた学力を強化し、進学実績の向上を目指す。・部活動、HR 活動への積極的参加により健全な人間関係を築かせる。 ・生徒面接により、生徒の適性にあった進路指導や助言をする。 ・適切な進路情報を提供するとともに生徒自身がその情報を活用する能力を育てる。 		

理数科	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じた効果的な校外学習や課題研究などの体験学習の実施。 ・理数科における適切な教育内容と進路指導の充実。 	
教務	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中心の教育活動を展開する。 ・生徒による「授業評価」の実施する。 ・学校説明会の充実を図り、情報の公開に努める。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上を図る。 ・進路意識・学習意欲の高揚を図る。 ・進路希望の実現をめざし、進路実績の向上を図る。 ・職員への進路（進学）データの提供と相互共有化をめざす。 ・来客への対応と生徒の進路相談に適切に対処する 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「服装をきちんと着る」「校則と交通ルールを守る」の継続実施 ・教職員の生徒指導に対する意識の統一を図る。 	
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・行事への参加意識の高揚と職員の協働体制の構築 ・部所属の生徒に対する自学自習時間の確保 ・「緑高祭」の質の向上 ・文化部加入率の向上 	
保健厚生	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談の充実と健康教育の啓蒙 ・学習環境の整備 ・奨学生への応募業務の円滑な運営 ・購買部の円滑な運営 	
図書	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、発展的学習、進路達成に役立つ図書をさらに充実させる。 ・生徒の図書館利用を促進する。 ・図書委員会を活発化する。 ・倫理道徳関連図書・視聴覚教材を充実させる。 	
渉外	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会や公開授業への参加率が50%以上となるようにする。 ・緑高祭への積極的参加を呼びかける。 ・本校の行事を保護者に周知徹底する。 ・PTA研修会への参加者を増やす。 	
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・早めの問題発見と能動的なカウンセリングを行う ・教育相談研修会を実施し、教職員の理解と技能を高める ・スクールカウンセリングの充実をはかる 	
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・校内LANをより充実した使いやすいものにするべく対応し、不具合への迅速対応を図る。 ・ホームページの内容の充実を図り、教育活動に関する情報の積極的開示を行う。 ・学校代表メールへの迅速対応を図る。 ・ポータルサイト茨城からの情報を、教職員と生徒へ迅速に提供する。 ・教育情報ネットワークを安全に・快適に利用できる体制を構築する。 ・文科省や県教育庁等の調査依頼に対して迅速に対応する。 	
事務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の適切な管理 ・省エネルギーの推進 ・不審者の校内立ち入りの対応 ・窓口等での適切な接遇 ・予算の早期執行と適正処理 	